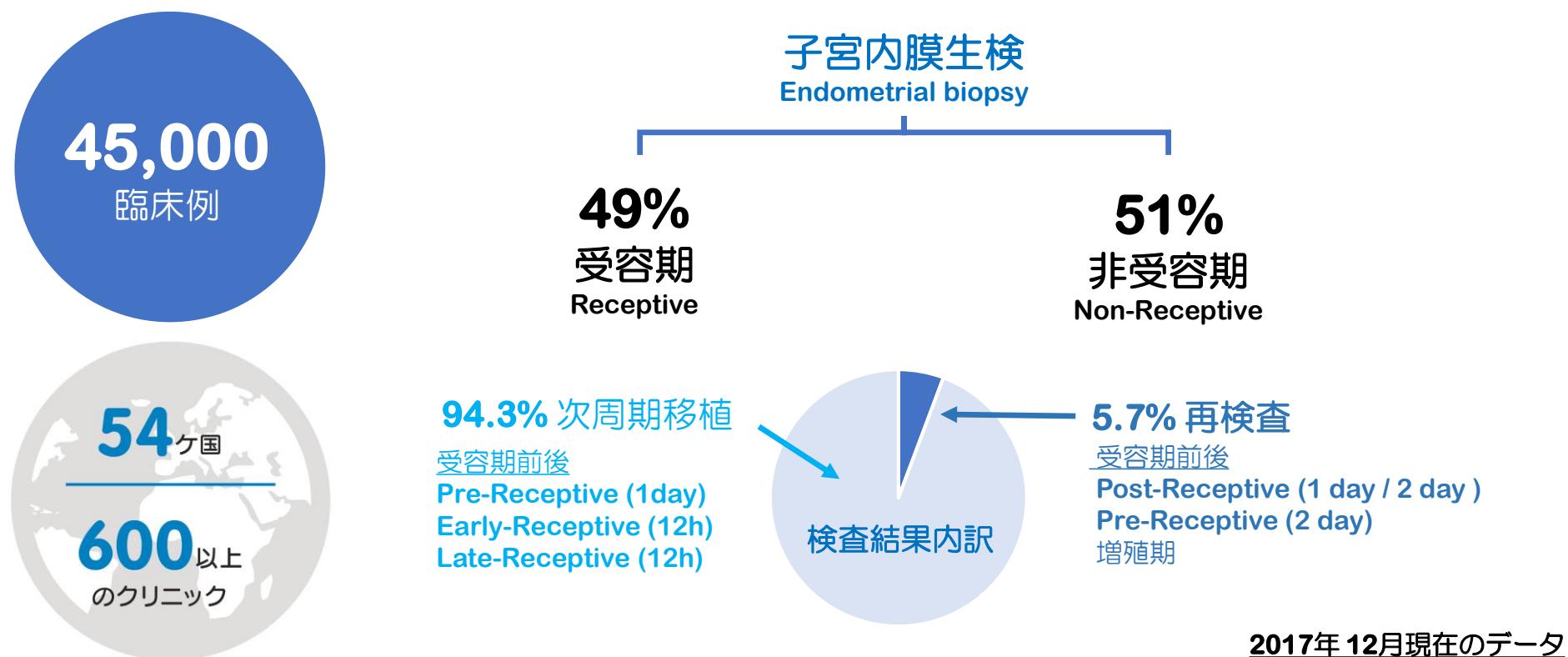


ERA[®] | 子宮内膜着床能検査

不妊症の方の約5割に「着床の窓のズレ」が起きていることをご存知でしょうか？



ERA(エラ)検査とは？

子宮内膜の着床能の評価を目的として開発され、臨床効果が公表されている初の検査法です。具体的には、凍結融解胚盤胞移植する際、移植する当日の内膜が着床可能な状態にあるかどうかを、子宮内膜を採取し、遺伝子レベルで調べる検査です。各患者様に適した移植時期の特定により、妊娠率が約**24%向上**しました。

ERA検査の論文は、**2016 ASRM**アメリカ生殖医学会にて受賞しました。

胚を子宮へ戻す時期を明らかに

国際誌へ報告された**16本**の研究論文を基盤とし
開発された**ERA**（子宮内膜着床能）検査



詳細は当院の医師、またはスタッフに
お問い合わせください。

igenomix
PIONEERS IN REPRODUCTIVE GENETICS



株式会社アイジェノミクス・ジャパン

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目7-10エル人形町4F

TEL: 03-6667-0456 E-mail: servicejapan@igenomix.com

HP : <https://www.igenomix.jp>

子宮内膜着床能検査

不妊原因を分子生物学的に解明し、不妊治療をより効率的に。(2009年 特許取得)

ERA(エラ)検査とは？

子宮内膜の着床能の評価を目的として開発され、臨床効果が公表されている初の検査法です。具体的には、凍結融解胚盤胞移植する際、移植する当日の内膜が着床可能な状態にあるかどうかを、子宮内膜を採取し、遺伝子レベルで調べる検査です。

子宮内膜の問題は、女性不妊の原因の1つとなっています。

1. ERA検査の対象となる患者様

ERA検査は、形態的に問題がない胚を移植しているが、着床に至っていない患者様を対象としています。

2. メリットは何でしょうか？

ERA検査は、妊娠率の向上に貢献しています。検査結果に従って、患者様ごとに個別化された最適なタイミングでの移植を行うことで、妊娠成率は約**24%向上**しています。



3. 子宮内膜の着床能について

子宮内膜へ胚がうまく着床しない場合があります。この問題には複数の原因があるものと考えられます。特に重要な因子は子宮内膜の着床能です。子宮内膜で胚を着床させる準備が整っていれば、その子宮内膜には着床能があります。子宮内膜に着床能がある時間を**着床ウィンドウ(WOI)**と呼び、胚が着床可能な期間を意味します。

4. ERA検査をご利用いただくには？

生検はご担当医師が診察室内で適切に実施いたします。詳細情報や患者様ご自身の症例の評価については、ご担当医にお尋ねください。

詳細は当院の医師、またはスタッフにお問い合わせください。

